

## 目次

1.工法概要

2.施工フロー

3.実績紹介

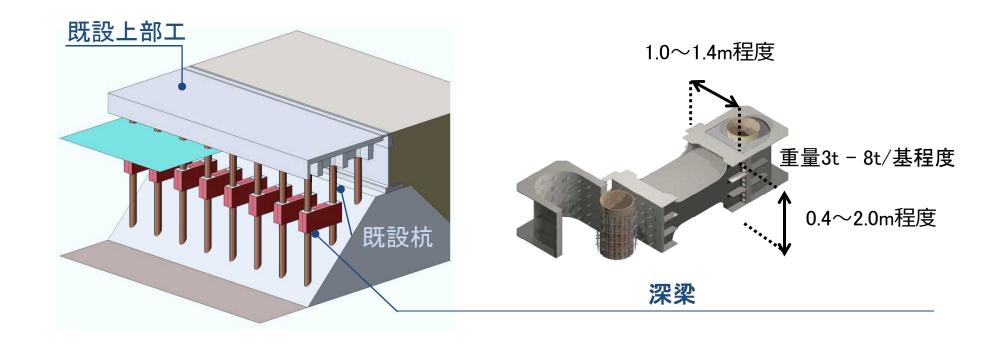


# 1. 工法概要



## 1. 深梁工法の概要

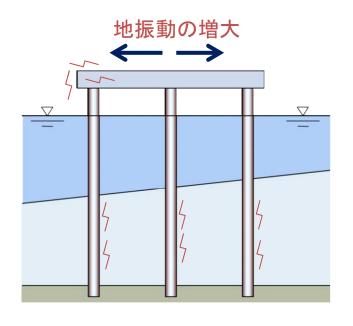
## 深梁工法



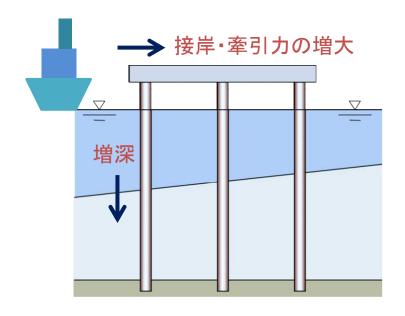
### 杭の間に追加部材=深梁を設置する補強工法



岸壁の耐震強化⇒設計震度の見直し



船舶の大型化⇒船舶による外力増大 岸壁増深

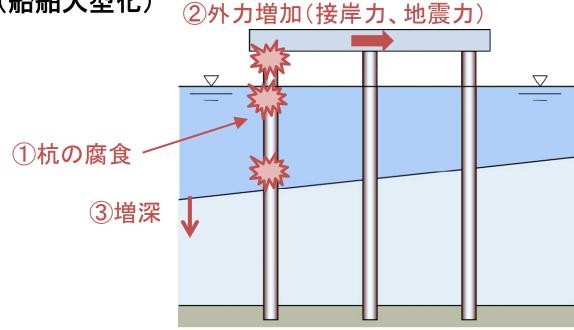


杭式桟橋は老朽化が進む一方で、要求性能は増加しており 耐震強化、及び船舶大型化への対応を求められている



### 既存の杭式桟橋の問題点

- ①老朽化(杭の腐食など)
- ②外力增加(船舶大型化、耐震強化)
- ③杭の突出長の伸張(船舶大型化)

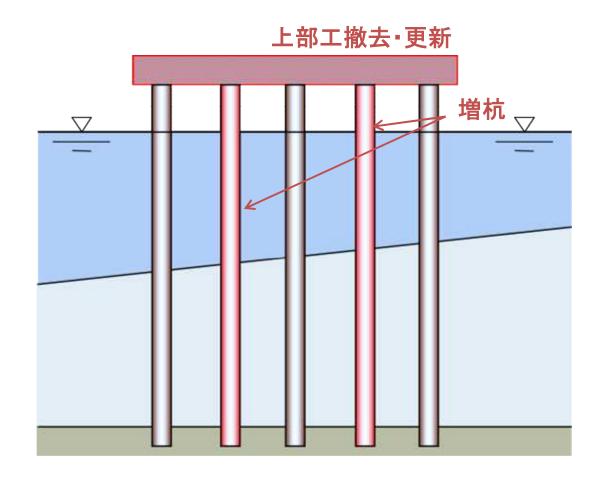


### 耐力 NG ⇒補強対策が必要



従来の補強工法(増杭工法など)の抱える問題点

- ①大掛かりな工事を必要とする(上部工撤去・更新)
- ②現地工期の長さ(→岸壁利用の制限)





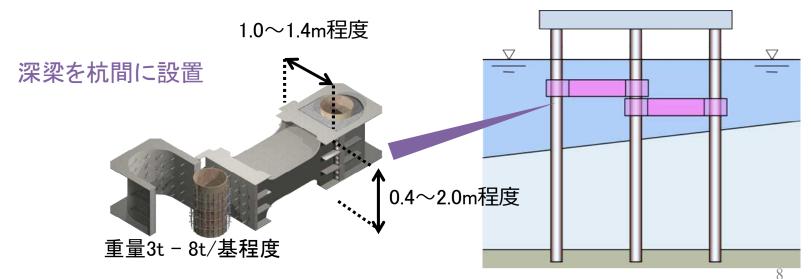
### 背景 -1. 深梁工法の概要 -

#### 深梁工法の開発

### 深梁工法を用いると・・・

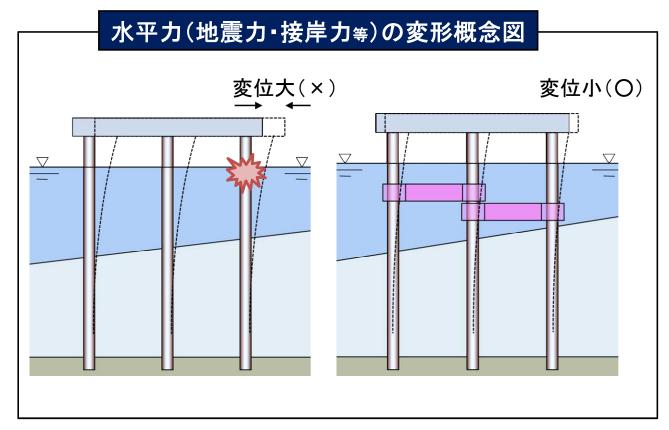
- ①桟橋を供用しながら補強が可能
  - ・杭間に深梁を設置する簡便な補強工法
- ②シンプルな構造、陸送可能な重さ・大きさ
  - ・製作上、特別な技術・装置は必要としない
  - 大型重機が不要なため振動や騒音が発生しない

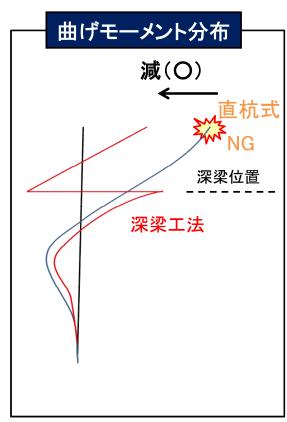
海象条件以外の外的要因 に依存しないため、北海道内 でも問題なく製作・設置可能





## 深梁の補強効果 -1. 深梁工法の概要 -



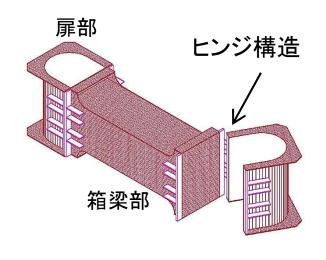


### 多層ラーメン構造により、変位や曲げモーメントを抑制



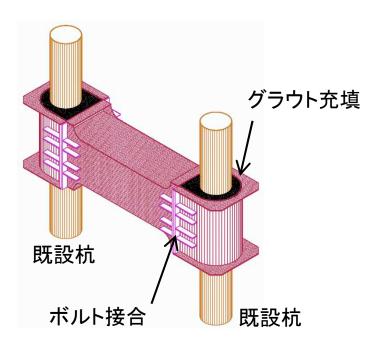
## 深梁の構造 - 1. 深梁工法の概要 -

### 深梁(工場製作)





### 深梁(現地据付)

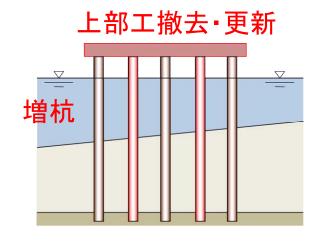


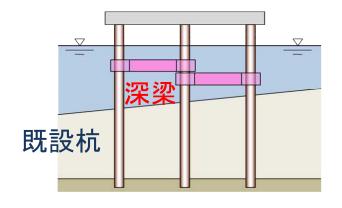


### 従来工法との比較 - 1. 深梁工法の概要 -

### 従来工法(増杭)

### 深梁工法





栈橋延長:L=350m

增杭:70本

深梁:35基

現地施工期間

10ヶ月

供用停止期間

9ヶ月

工費

1.0

▲90% 1ヶ月 ▲20% 0.8

**60%** 

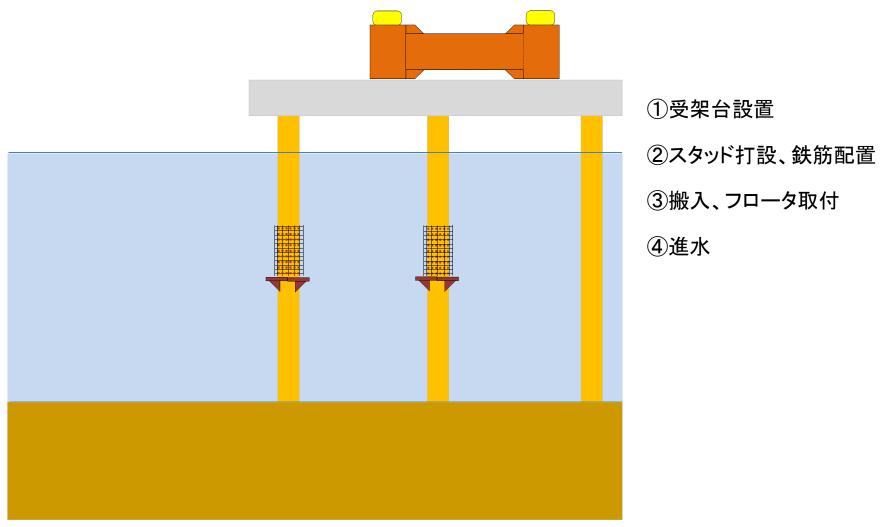


4ヶ月

# 2. 施エフロー



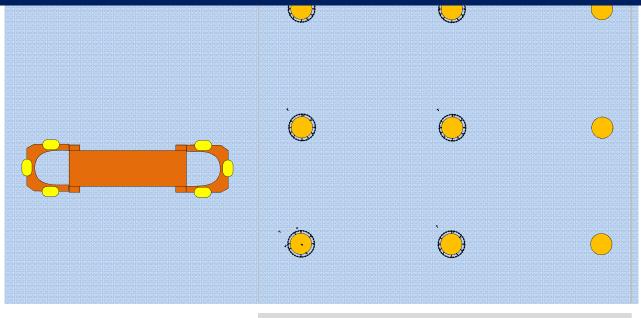
## 2. 施工フロー



- Ų



## 2. 施エフロー

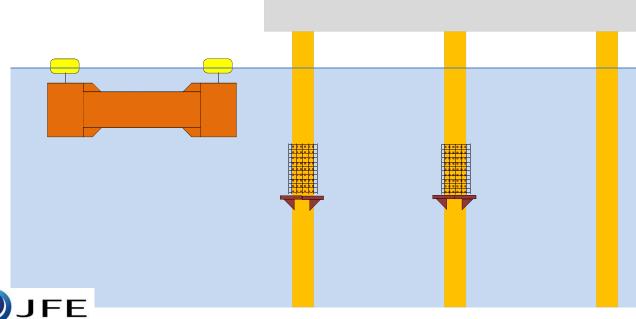


- ⑤扉部開放
- ⑥引き寄せ

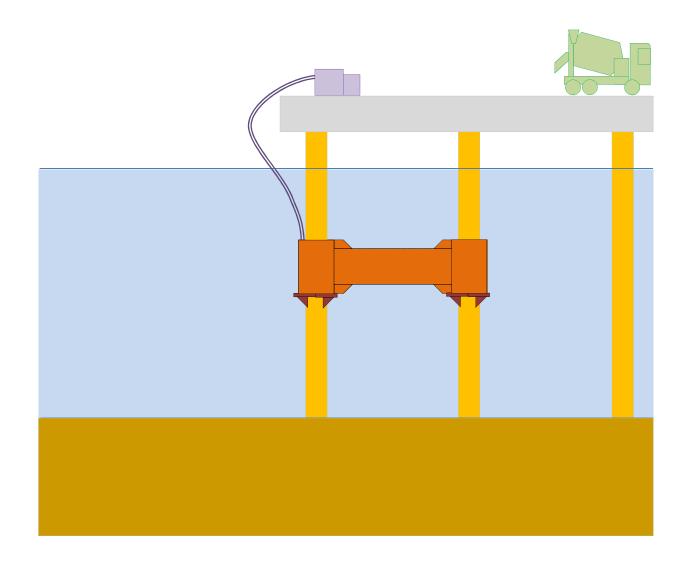
4

4

- ⑦扉閉合
- ⑧沈設設置



## 2. 施工フロー



- ①グラウト充填
- ②養生
- ③完成





### 青森県岸壁



### □青森県某岸壁改良工事

発 注 者 : 国土交通省 東北地方整備局

施工年度: 2014年度

効果: 耐震性向上

総 数 : 35基

当 社: 現地計測、深梁部材の製作・設置

諸 元(m): 梁高 0.90m

梁幅 0.45m

扉部高 2.00m

栈 橋 諸 元 : 杭間距離 5.00m

杭径 *ф* 1000mm



#### 大阪府桟橋



### □大阪府某桟橋補強工事

発 注 者 : 阪神国際港湾㈱

施工年度:第一桟橋 2015年度

第二桟橋 2017年度

効 果 : 船舶大型化、耐震性向上

総 数 : 116基(64基+52基)

当\_\_\_\_ 社 : 深梁部材の製作

諸 元(m):梁高 1.00m

梁幅 1.00m

扉部高 1.00m(第二:1.50m)

桟 橋 諸 元 : 杭間距離 3.20/4.00m

杭径 *ϕ* 609mm □



#### 福島県浦漁



□福島県某漁港災害復旧工事

発注者: 福島県相馬港湾事務所

施 工 年 度 : 2016年度

効果:早期災害復旧

総 数:5基

当 社:深梁部材の製作・設置

諸 元(m):梁高 0.30m

梁幅 1.00m

扉部高 0.80m

栈 橋 諸 元 : 杭間距離 4.25m

杭径 φ500mm



### 静岡県岸壁





#### □静岡県某岸壁改良工事

注 者 : 国土交通省 中部地方整備局

施工年度: 2018年度

効 :船舶大型化

総 数 5 7基

社: 深梁部材の製作・設置

諸 元(m): 梁高 1.00m/0.70m

梁幅 1.00m/0.70m

扉部高 1.90m

桟 橋 諸 元 : 杭間距離 5.40m/5.30m

杭径 φ1100mm



# ご清聴ありがとうございました

<お問合せ先>

JFEエンジニアリング(株) 鉄構インフラ事業部 家根 拓矢 メールアドレス: yane-takuya@jfe-eng.co.jp 03-6212-0037 (営業部)

03-6212-0021 (技術部)

